

2025年1月1日 【清真学園 校長室だより】 求められる力

新年明けましておめでとうございます。この冬は例年に比べ少し長めの冬季休業でした。蓄えたエネルギーを1月からの教育活動にしっかりと生かすべく、清真学園職員一同頑張っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年6月の校長室だよりで、「社会人基礎力（社会に出て活躍するための価値基準）」に言及させていただきました。これからの変化に富んだ社会を、たくましく生き抜く力をいかに身に付けさせることができるかは、今後学校教育に厳しく求められる部分ではないかと思えます。そのことを踏まえつつ、冬季休業前後の集会で生徒達に伝えた内容をここで少しだけ、ご紹介いたします。

①ベートーベンが650の曲を作り、ピカソは15万の作品を生み、エジソンは1300もの発明（電球）をしたと言われています。エジソンのアイディアノートは3500冊に及びます。このことは、圧倒的な量からしか質は生まれないことを示しています。そして、量を確保するために必要なのが時間。アマゾン創業者のジョン・ベゾスが今もこだわり続けているのが「いかに短時間で買い物ができるか」「いかに短時間で商品を届けられるか」の2点。時間の節約へのこだわり、それこそがアマゾンの成長を可能にしたのです。集中して物事に取り組むと、1分という単位でもかなりのことが出来ることを体験的に知っている人は多いと思えます。その意識を徹底できれば、生み出した時間が量を生み、量の中から上質が生まれます。

②社会人基礎力の中でもとりわけ、多くの企業などが口を揃えて重要視するのが「前に踏み出す力」です。失敗を恐れず、常に一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力。本当に前向きな人は文字通り、前（＝未来）だけを見ている。だから何を失ってもゆるがない。どんなピンチでもそれを「新たなチャンス」ととらえることができるのです。

清真生には時間使いの達人になって欲しい。そして、学校生活の中で、多くの事にチャレンジし、失敗を経験し、その中でたくましさを身に付けて欲しい。心からそう願っています。